

## 平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市 町 村 名 枚方市

実践研究校名 招提北中学校

【公開授業】公開日：平成26年1月20日

対象学年：第1学年

<p>(教材・教科書名) New Horizon 1 (東京書籍)</p> <p>(単元名) Speaking Plus 2 道案内</p>	<p>(本時の指導の目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを恐れず積極的に英語で言語活動に取り組むようにする。</li> <li>・相手の意向を聞いて、おすすめのレストランを紹介し、正しく道案内ができるようにする。</li> <li>・会話の流れを理解し、まとまりのある会話をすることができるようにする。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(本時の授業において工夫した点)

- ・基本表現や、新しい表現を確認するためにパワーポイントを活用して、繰り返し生徒に練習させた。
- ・単に建物の場所だけを教えるのではなく、会話の流れをふまえた道案内の仕方を学ばせた。
- ・まとまりのある会話を意識させるための表現を生徒にたくさん紹介して使えるように指導した。

(授業を終えた教員の感想)

- ・基礎クラスの生徒が積極的に活動できるように、ある程度限定したシチュエーションで言語活動を行った。同じパターンを繰り返す活動の中で、スムーズに会話活動ができたが、活動内容をもう少し発展させて、スタート地点を変えるなど、チャレンジさせても良かったと感じた。
- ・生徒が臨機応変に、英語によるまとまりのある会話ができるように、今後とも指導の工夫をしていきたい。

【研究協議会】

<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある会話を目指した英語活動について</li> </ul>	<p>(指導・助言者)</p> <p>関西外国語大学教授 並松 善秋 氏</p>
----------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・クラスの雰囲気がよく、生徒も積極的に発言していてよかった。
- ・もう少し、教師も生徒も大きな声で発言する方がよい。
- ・授業のテンポがよく、メリハリもあったが、発音指導をもっと丁寧にする必要がある。
- ・道案内等の活動では、実際の身近な地域を題材にして、より実用的な言語活動にした方がよい。

(まとめ)

1. 学習集団として、非常に雰囲気がよく、生徒が積極的に授業に参加出来ていた。やはり、日頃のクラスづくりと、生徒の活動を中心とした授業づくりが大切である。
2. 一人ひとりの生徒の発音について、もっと的確で丁寧な指摘と指導が必要である。
3. 生徒にとって身近で日常的な題材を活用していく必要がある。そこから、より実用的な英語の力を身につけることに繋がっていく。